

果たして「学際」は 挑戦から日常になったか？

— 連載後に著者らが集まるフォローアップの生トーク公開 —

2023年12月18日(月)

サントリー文化財団9F大会議室

15:00-18:00

参加無料、どなたでも

先着30名

事前申込み制

(裏面をご参照)

アステイオン連載企画「超えるのではなく辿る、二つの文化」では、2021年11月から2023年11月の2年間にわたり、計4回の論考を掲載しました。

いわゆる理系、いわゆる文系の研究者合計6名が集まり各研究室を互いに訪問しあってその研究現場を体験し、単なる研究紹介や研究室訪問にはとどまらず、各自の論文誌を見せ合ったり、各自のメインの学会の様子を伝える他、「あなたの分野のよくある1日、1週間、1年間のタイムテーブル」や「あなたが学生指導の際によく使うフレーズは？」といった日常活動の（苦悩の）理解に努めました。総じて、他分野への切れ味鋭い問い合わせを発すると同時に、自身の見地の狭さを実感するといった両輪的な深い学びが得られたのは、これまで連載してきたとおりです（裏面をご参照）。

本企画は、この連載に関わった研究者6名が改めて集い、この企画から得た知見、体験がどのように日常に溶け込んでいるかを本音トークで語り合います。

今回の登壇者！



大阪での
リアル開催のみ

- 15:00 開場
- 15:30 趣旨説明、その後、パネルディスカッション
- 16:30 全体討論
- 17:00 懇親会(～18:00)
※参加自由



こんな方へ

- 世間でいう「学際」「学際研究」に違和感がある研究者
- 「学際」を進展させることに关心がある大学関係者（大学執行部やURA組織等）
- 現状の学術のあり方に疑問を持ちつつも本来の研究（学問）を求める研究者
- これから研究者の道に進むにあたっていろいろ学びたい大学院生
- 今日的な学術の有り様についての現場の声を知りたいメディアの方
- 数々の産学連携をしてきたが、どうも納得がいかない企業の方

ご意見、お考え、
たくさんお聞かせ
ください！

登壇者紹介

安藤妙子（立命館大学理工学部機械工学科教授 | マイクロ機械工学）

後藤彩子（甲南大学理工学部生物学科准教授 | 昆虫機能学）

櫻井悟史（滋賀県立大学人間文化学部地域文化学科准教授 | 文化社会学、犯罪社会学）

プラダン・ゴウランガ・チャラン（龍谷大学世界仏教文化研究センター博士研究員 | 日本文学、比較文学）

三谷宗一郎（甲南大学法学部准教授 | 行政学）

村田純（サントリー生命科学財団 生物有機科学研究所 主席研究員 | 植物生化学、植物特化代謝）

ファシリテーター：宮野公樹（京都大学学際融合教育研究推進センター准教授 | 学問論、大学論）



アステイオン
099
(2023/11)

- 第1回 学問との再契約
第2回 解く理系に問う文系
第3回 納得の文系に説得の理系
第4回 学際、挑戦から日常へ

(2023年11月発売)

第1回-3回までは、下記より
無料でダウンロードすること
ができます！



申し込み [12月14日〆切：先着優先]



本イベントへの参加理由・参加動機（必須）、第1回から第4回までをお読みになった感想、コメント、質問などをぜひお寄せください（任意）。

注：パネルディスカッションで活用させていただくため、当日、参加者名簿（お名前、ご所属、参加動機のみ）を会場配布する予定です。

<https://forms.office.com/r/ZtJS76FRU3>

会場

530-8204 大阪市北区堂島2-1-5
サントリーアネックス9階 TEL:06-6342-6221



主催：公益財団法人サントリー文化財団

＜お問い合わせ＞

サントリー文化財団（担当：大栗）

sfnd@suntory-foundation.or.jp

公共交通機関より
JR東海道線・大阪駅より徒歩約10分
JR東西線・北新地駅より徒歩約5分
京阪・淀屋橋駅より徒歩約10分
京阪・渡辺橋駅より徒歩5分
阪急・大阪梅田駅より徒歩約15分
地下鉄御堂筋線・梅田駅より徒歩約10分
地下鉄四つ橋線・西梅田駅より徒歩約5分